

13 静砂工・覆砂工

13-1 丸太静砂工

特徴

砂の移動防止と植栽木の生育環境の整備を図ることができる。

現地発生間伐材（スギ）を使用することにより、切捨て間伐材の有効利用となる。

施工場所

海岸部の飛砂、波浪、高潮等の被害防止または軽減を必要とする場所に適する。

施工方法

杭木を一定間隔に建込む。次に横木を設置し、針金で結束する。最後に縦木を設置し、針金で結束する。

全景



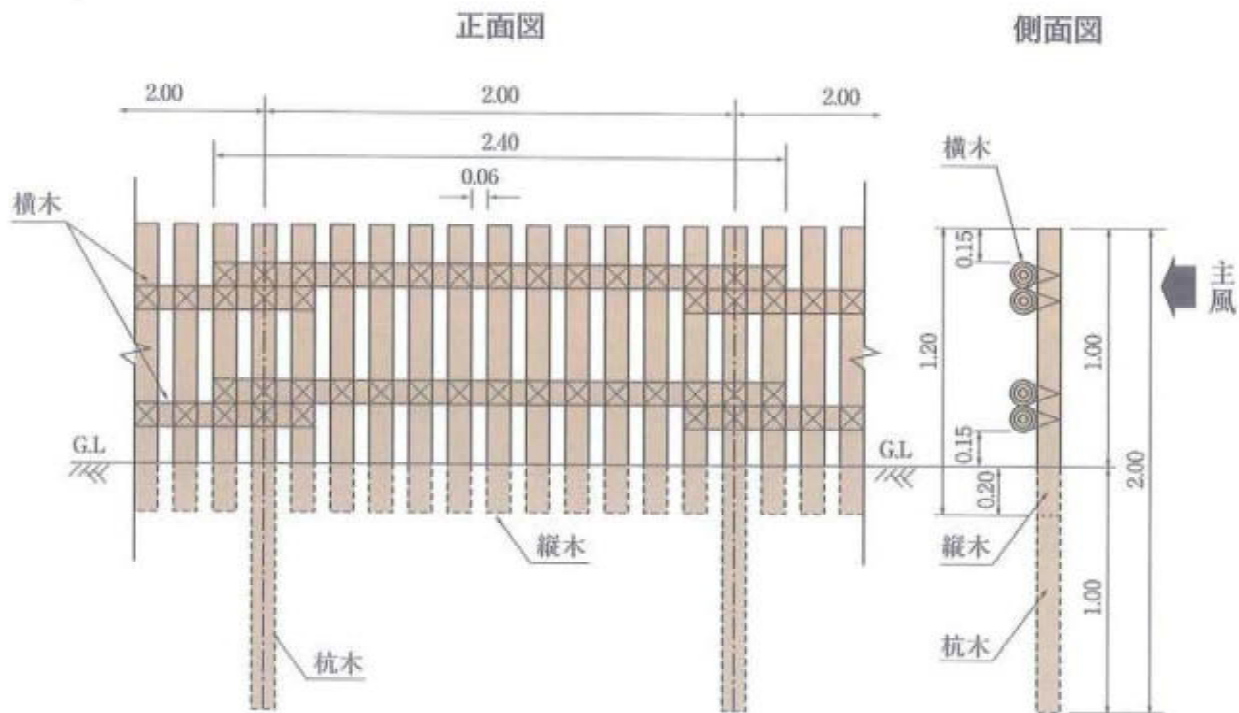
施工地：青森県三沢市

事業名：海岸防災林造成事業

施工主体：青森県

標準図

(単位：m)



材料・歩掛表

材料表

(10m 当たり)

名称	規格・寸法	数量	単位	摘要
杭木	スギ丸太 ϕ 5 ~ 16cm L=2.00m	5	本	間伐材 0.11 m ³
横木	スギ丸太 ϕ 5 ~ 16cm L=2.40m	10	本	間伐材 0.26 m ³
縦木	スギ丸太 ϕ 5 ~ 16cm L=1.20m	55	本	間伐材 0.73 m ³
針金	亜鉛引き # 12 24.0m / kg	6.0	kg	1.0m / 1箇所

13-2 丘頂垣工

特徴

壁面に竹製品を使用した丘頂垣である。
軽量であるため施工性が良い。
柔軟性があるため地形の凹凸に合わせての施工が容易である。
杭木に竹杭の使用も可能である。

施工場所

風食により砂丘頂部に凹凸が生じ、砂丘破壊になる恐れが懸念される場合、砂丘頂部に1～2列埋め込む。

施工方法

杭木を1.5m間隔で建て込み、割竹と杭木および割竹と竹箆を鉄線で結束する。

全景



施工状況

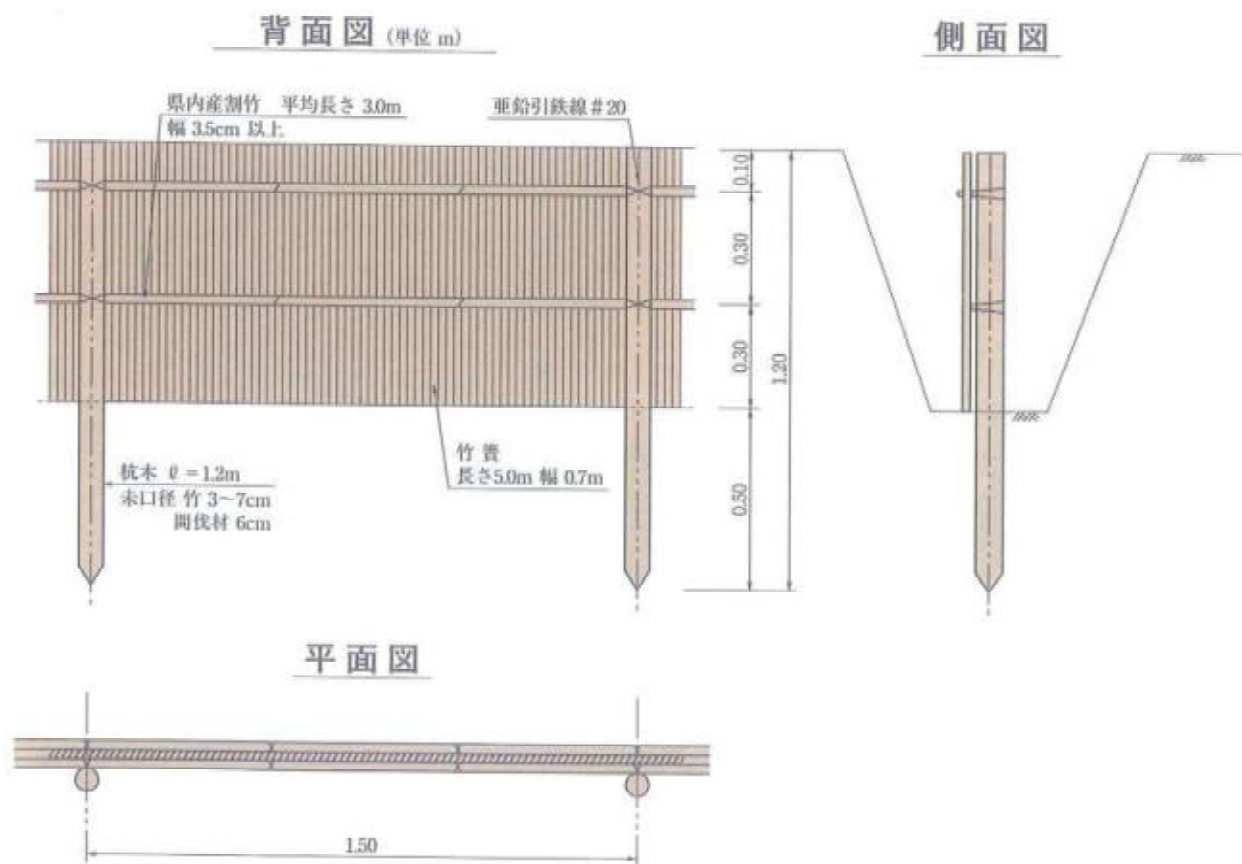
近景



完成状況

施工地：新潟県新潟市西蒲区角田浜
事業名：海岸防災林造成
施工主体：新潟県

標準図



材料・歩掛表

(100m 当たり)

資材名	規格	数量	単位	備考
杭 木		66.67	本	木杭、竹杭共通
県内産割竹		100.00	本	L=3.0m W=3.5cm 以上
竹 簧		20.00	枚	L=5.0m H=0.7m
亜鉛引鉄線		2.01	kg	#20
普通作業員		1.53	人	杭建込手間
普通作業員		1.00	人	簧立手間
普通作業員		3.02	人	結束仕上手間

13-3 静砂垣工

特徴

ナイロンネット等と比べ生物や景観に与える影響が少ない。

施工場所

海岸部等で植栽木の成林環境を整えるため、飛砂等の被害防止や軽減を図る必要のある箇所。

施工方法

杭木を打ち込み支柱を固定し、竹箆を苦竹で杭木に取り付ける。

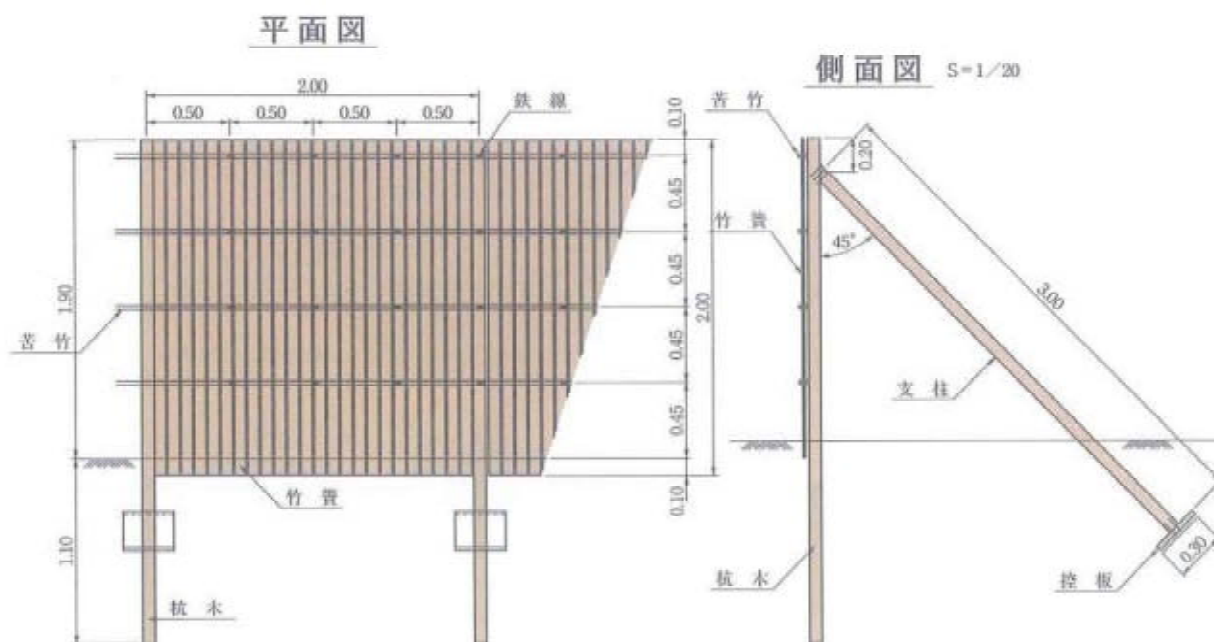
全景



完成状況

施工地：富山県氷見市
事業名：県単独治山事業
施工主体：富山県

標準図



材料・歩掛表

材料表

(6.0m 当たり)

名称	形状・寸法	数量	単位	摘要
杭 木	杉角材 L=3.0m (0.10 × 0.10 × 3.0)	3.0	本	3.0 本 (0.10 × 0.10) × 3.0m × 3 本
支 柱	杉角材 L=3.0m (0.10 × 0.10 × 3.0)	3.0	本	3.0 本 (0.10 × 0.10) × 3.0m × 3 本
竹 簀	L=2.0m W=2.0m	12.00	m ²	3.0 枚 2.0m × 2.0m × 3 枚
苦 竹	周囲 7 ~ 9 cm 長さ 6.5m	7.38	本	6.0m × 4 段 × 2.0 段 × 6.5m
鉄 釘	N=100	0.18	kg	支柱 1 本当たり 5.0 本
控 板	30 × 30 × 3	0.008	m ²	支柱 1 本当たり 1.0 枚
亜鉛メッキ鉄線	# 14	1.63	kg	
かすがい	φ 9 = 14mm	6.00	本	支柱 1 本当たり 2.0 本

備考 鉄線の結束方法はタスキがけとする。

控板は規格を満たせば材質は問わない。